

時子ノ會社側ト會見シタル。會社側、於干ハ旁ハ  
余子床ノ他ハ更ニ抵立、餘他多カレ文書八條八之  
ヲ拒絶シタル。乃テ職工側、契約ノ骨子シル条件  
ヲ取起ス大トセバ他工場ヨリ、社入ヲ引度クルコ  
トヲ申起ス。レタント要求亦拒絶セラレタル。  
三十日又二同ト被識。一上明三日(本日)再發ス。ヤ旨  
ナ事ナ所後四時三十分是出シナリ。

以上ノ如ク三月廿三日、自殺的經營ハ到底不可能十  
九櫻櫻花モナシ。本日一再答如何。依リテハ自殺的、經  
營ハ中止シ更ニ手賄問題ニハ可及的多額一文給方ヲ  
要求大ルニ至ル。キ形勢ニ件事件、解求近ハ尙未多  
シ紛争多有。ガルモノト連絡不引爲半途意ナ

3

支那紳工第三十二號 大正十三年五月九日

明治電氣株式會社為勸導議

(一章五報解決)

首題工場被解雇职工中、無条件釋放部、漫  
宮又ハトスル毒氣退院シテ解雇年数要求連  
動不為不以トスル為不必ト、二派三分ヒ第甫三篇  
又ハ明治電氣友會員ハ去ル五日前、化ト交渉  
1結果締結物部經営差支十日止、言論解  
得久ル以後省ノ房久ル閩東鉄工組合員ハ勸  
導手書及解雇手書、一箇月前事。現出上會  
社例之上、峻拒シタル事ハ既報、慶暦八年  
年後二時明治電氣友會側代表、萬山久恭  
翁二名會社三牧縣技師長ニ訪問工場

昭和10  
第493号